

あふせ

議会だより



No. 76
2014.4.20

発行 長野県小布施町議会



わかば保育園卒園式

平成26年度
予算可決



雁田山希少種シリーズ

【フクジュソウ キンポウゲ科】

早春の花で広く知られている。環境省は、絶滅危惧Ⅱ類に指定、長野県は、準絶滅危惧種に指定している。雁田山では、3箇所で群生が認められる。

栗ガ丘 記・清水照雄

- 平成26年度予算…………… P2・3
- 委員会報告・賛成反対討論・付帯決議…… P4・5
- ここが聞きたい（一般質問）
議会研修報告等…………… P6
- 一般質問…………… P7～19
- 学生が語る未来の小布施！
傍聴記・編集後記…………… P20

学生が語る未来の小布施！

夢への架け橋

El Camino College (6月入学予定)



涌井 千夏

この春高校を卒業した私は、4月に海外進学を

することに毎日忙しい日々を追われています。海外進学というのを考えたのは昨年の夏からです。それまでは理系の国立大学を目指していましたが、それがそれは、私の【一つの夢】を諦めていたということ

です。中学生の頃から留学をしてみたいとずっと考えていましたが行動に移せず、高校に入学してからも留学なんてできないと諦めていました。そして3年生になり、部活動を引退してからこの小布施で海外の人と交流できるプログラムがあると知り、母は、せっかくなので背中を押してくれて私はこの小布施で開催された「サマースクール」に参加しました。サマースクールでは日

本全国、海外の高校生とハーバード学生が行う授業を受け、様々な体験をしながら6日間ともに生活し、この6日間は一生忘れられない思い出になりました。そして、より一層英語の必要性と留学をしたいという思いが強くなりました。大学生や高校生と話している中で「今しかできないことがある」という言葉を多く耳にしました。そして私は3年生の夏に「今しかできないことをするために、進路を変更することに」なっ

た。その選択をすることによってたくさんの人に迷惑をかけましたが、賛同してくれた周りの人には本当に感謝しています。そして何よりこのサマースクールを企画するにあたって多くの支援、私の夢への架け橋をしてくださった小布施の方々への感謝の気持ちを伝えたいです。これからもこの小布施町で、新たな可能性を見つけていくとともに、私自身も誰かの架け橋になればと思います。

本年4月よりの消費税増税と、町制60周年の年にあたり、更なる小布施の町づくりを進めるため平成26年度一般会計予算47億4百万円は重点施策6つを掲げています。昨年度より2億4400万円(5.5%)増の中、予算特別委員会を設け時には激しいやり取りの中、慎重審議の結果、小布施町議会としては、住民の思いを尊重し、付帯決議を決議し原案の通り予算を可決しました。今後も行政チェック機能をはたしていきます。

編集後記

傍聴記



三月六日、七日、小布施町三月会議の一般質問。傍聴記を傍聴に掛けた。何しろ初めての事なので、何も分からず、傍聴席に着くと、張り詰めた緊張感が伝わり、少々緊張気味に聞いていました。時間も経つにつれて、楽な気

在来野草保護の視点から

持ちで聞きました。さて、議員諸氏の質問内容は、農業、観光、教育、防災、介護、健康と、多岐に亘り各々の観点から熱の籠った質問をされていた。一つ一つ聞きながら聞いておりましたが、ふと耳に留めたのは、信濃(日本) 蒲公英を保護しようという質問でした。昨今堤防や千曲川の辺りを歩けば、セイヨウタンポポ、セイタカアワダチソウ、アレチカウリ、等々外来帰化植物が幅をきかせ、在来植物を脅か

しています。我が家の近くにも信濃(日本) 蒲公英が群生してありますが、その数も年々減少してきておりました。今回このような在来の野草に目を向け、これを増やし景観や学習資料にしようという意見には、大いに感心し賛同するところでした。小学校校庭の片隅に限らず、駅前周辺の山や、町図書テラスのアプローチなどに、すみれ、たんぽぽ、れんげそ

う、振花等日本古来の野草で一椀になれば、素晴らしい景観になると思います。又、春に咲かず、夏から秋に咲く在来野草を増やし、一年中楽しめる場所をできるだけ多くしたいものです。傍聴席で気が付いた点は多々ありますが、聞き取りにくいところがあり、私自身最近難聴気味(補聴器を付けていますが)ですが、特に答弁側の方々が、自席で立つて答弁をされる声がよく聞き

取れないことがありました。折角各机にマイクが設置されているんですから、これを有効利用していただきたい。さて、今回初めて議会を傍聴し、心地好い緊張感の中で聞く事ができました。チャンスがあれば再度聞きに行きたいと思っております。議員諸氏には健康に留意され、今後とも故郷小布施の為に、益々のご活躍を期待しております。ありがとうございました。

中沢善男

発行責任者	議長 関谷 明生
議長	委員 長 原 勝巳
副委員長	委員 長 山岸 裕始
委員	委員 長 小林 一広
委員	委員 長 富岡 信男
委員	委員 長 川上 健一
委員	委員 長 大島 孝司
委員	委員 長 関 悦子

【表紙の写真】感動的なわかば保育園の卒園式での様子。先生とお別れがさみしく泣き出した子供たちもいました。

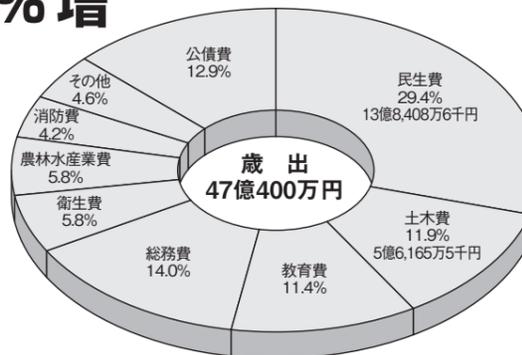
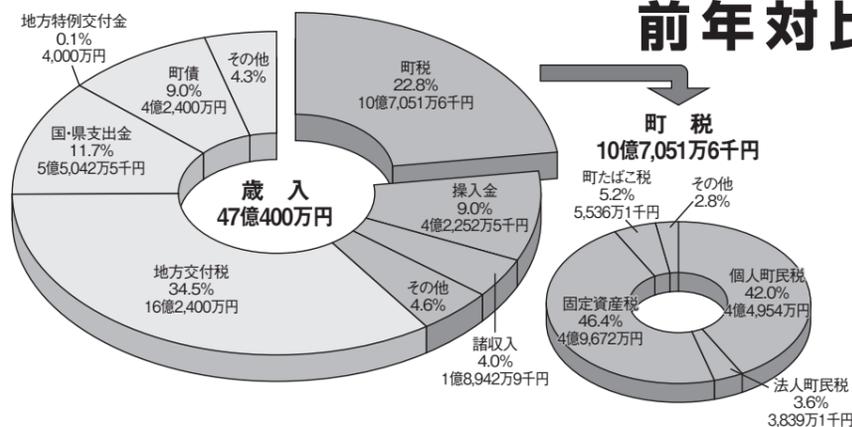
新規・拡充主な事業

■スポーツコミュニティセンターを通じた交流機会の創出
千曲川ハイウェイミュージアムが新しく生まれ変わります。



平成26年度予算

前年対比 5.5%増



■エンゼルランドセンターの建設
グラウンドに新しく建設し今までの建物の跡地を駐車場等にします。

一般会計予算

歳入 47億400万円 (前年対比5.5%増)

主な内訳

- 町税 ……1,070,516千円 (±0%)
個人町民税、固定資産税、軽自動車税に於いては増を見込むが法人町民税、町たばこ税の減で相殺となる。
- 地方交付税 ……16億2,400万円 (ほぼ前年並)
- 国、県支出金 ……550,000千円 (+16.3%)
国庫は臨時福祉給付金事業補助金等の増で29.7%、県支出金は元気づくり支援金等の減で4.1%減。
- 繰入金 ……422,500千円 (+6.6%)
公会堂等耐震改修事業等で財政調整基金の繰り入れ。エンゼルランドセンター新築に向けた大規模建設事業資金積立基金の繰り入れ等のため増額。
- 町債 ……424,000千円 (+46.0%)
借換債 (137,400千円) があるので実質の増ではない。

歳出 47億400万円 (前年対比5.5%増)

- 議会費 ……78,688千円 (2.2%減)
<傍聴席改修工事 ……1,300千円>
- 総務費 ……657,487千円 (20.2%減)
重点施策「町制60周年と地方の可能性を探る」
<町制60周年記念式典関係 ……4,702千円>
Q どのような内容で進めるのか。
A 記念式典、講演、3自治会の祭り屋台の巡行等。
<庁舎等整備事業費 ……15,023千円>
Q どのような整備事業か。
A 庁舎の駐車場の整備。駐車場を確保しながら

2年に分けて行う。今年は南側から行う。

<官学協働事業費 ……7,070千円>

- Q どのような内容か。
A 中島聞多先生の大学移籍により新たに慶応大学と協定を結び10年後、20年後の町づくりビジョンに取り組みます。
Q 嘱託職員は何人か。
A 嘱託職員1名、臨時職員1名です。
Q 嘱託職員の報酬は妥当か。
A 町職員の大卒の規定に合わせた。

<定住促進事業費 ……14,259千円>
移住・定住に向けてトータルなサポートを行う。
<若者会議の開催 ……4,323千円>
<公会堂耐震改修資金 ……165,058千円>

- 農林水産業費 ……271,424千円 (8.9%増)
重点施策「攻める小布施町の農業へ」
<小布施ブランド戦略事業費 ……17,971千円>
付加価値の高い農産物づくりを推進し、北陸新幹線の開業を契機に販路拡大を進める。

- Q 公社への委託料が常態化しているのでは。
A 委託料からの脱却は今現在ははっきり言えないが出来るだけ早く対応したい。
Q 博多のアンテナショップの現状は。
A 25年度から商品の卸納入に切り替えている。森の駐車場の直売所は閉鎖した。

<有害鳥獣対策費 ……6,088千円>
Q 有害鳥獣に対するその後の対策と人員育成は。
A 近隣市町村と連携を図っている。緩衝帯整備、進入防止柵の設置に加え、カラスの大型の捕獲檻を設置。わな、銃資格取得費用の助成をする。

- 商工費 ……115,526千円 (2.4%増)
<起業家支援 ……31,880千円>
空き店舗の事態把握に努め、また、小布施町に

移住し起業、開業を志す方の支援をして行く。

⑤ 土木費 ……561,655千円 (11.9%増)

- <道路新設改良費 ……21,190千円>
Q 道路整備計画はどの様になっているか。
A 計画そのものは大きなものになり、かなりの費用が必要で現状は難しい所がある。
Q 地元要望だけでなく職員の調査も必要では。
A 必要と思われるところは精査をし、検討する。
Q 最低入札価格の見直しの検討は。
A 十分に検証し検討していく。

⑥ 消防費 ……197,058千円 (4.2%増)

⑦ 民生費 ……1,384,086千円 (18.1%増)

<負担金補助及び交付金 ……21,197千円>
Q 社会福祉協議会運営補助金及び委託事務負担金の内容は。

- A これまでの人件費も含めた事業委託を、人件費と事業費に分けたもの。
<高齢者在宅支援委託料 ……5,055千円>
Q 高齢者在宅支援委託先は。
A NPO法人しなのぐらし、社会福祉協議会、夢工房。
<高齢者等福祉タクシー利用給付金 ……4,500千円>
Q 高齢者等福祉タクシー利用給付金は何名分で、支給要件の緩和は。

A 270~280名を予定。自発的な免許返納者等も対象となるよう検討したい。

<わかば保育園改修工事 ……466千円>

- Q わかば保育園のトイレ改修の内容は。
A 障害児童用に洋式便座に改修。

<エンゼルランドセンター設備事業費 ……164,840千円>

- Q エンゼルランドセンター新築工事スケジュールは。
A 本年度中に設計と業者選定、入札を実施、新年度から建設に着手。

- 衛生費 ……271,943千円 (2.2%増)
<健康と交流事業 ……7,067千円>

Q 病院機能活用協働実施委託料の内容は。
A 新生病院の専門家による「健康づくり研究所」における事業運営。

⑨ 教育費 ……536,848千円 (4.7%増)

<小・中学校町負担金 ……20,335千円>
Q 町費小・中学校教員配置状況と業務内容は。
A 生活支援員、特別支援教区等支援員、教科学習支援員、英語指導等助手他。

<小学校環境整備事業費 ……37,022千円>

- Q 小学校環境整備工事太陽光システム導入の範囲と目的は。
A 1、2年生教室と特別支援教室、理科室に導入。電力消費やCO2抑制のため。

<文化振興事業費 ……8,755千円>

- Q 町制60周年の伝統芸能実演委託料の計画は。
A 小布施町の子供たちも参加して、秋に能楽の公演を予定。

<総合型地域スポーツクラブ支援事業費 1,200千円>

- Q 総合型地域スポーツクラブ支援事業費補助金の用途は。
A 各クラブの教室開催の運営費用と道具等の購入費。

特別会計

- 国民健康保険特別会計 ……1,342,834千円 (3.3%増)
- 後期高齢者医療特別会計 ……113,026千円 (5.9%増)
- 介護保険特別会計 ……956,440千円 (5.6%増)
- 同和地区住宅新築資金等
貸付事業特別会計 ……800千円 (17.2%減)
- 下水道事業特別会計 ……462,145千円 (2.7%増)
- 農業集落排水事業特別会計 ……161,320千円 (10.9%増)
- 水道事業会計 ……337,086千円 (4.3%増)

1月会議 2月会議 3月会議 委員会 の 報告

1月会議

〔社会文教常任委員会〕

- ◎ 小布施町生活支援ハウスの指定管理者について（全員挙手）
- 指定の期間が10年間となっているが、指定管理期間の根拠は。
- △ 期間は、各地方公共団体に定めることになっている。
- 選定委員会の委員の選定基準とその内、学識経験者3名とは。
- △ 選定委員会の設置要綱に基づいて、医療・福祉関係者と金融機関関係。

2月会議

〔社会文教常任委員会〕

小布施町一般会計補正予算について（平成25年度）（全員挙手）
◆保育環境整備事業費 ……………22,713千円

〔政策立案常任委員会〕

日本型直接支払制度に関する要望書 ……………（全員賛成）

3月会議

〔総務産業常任委員会〕

補正予算 1件

- ◎小布施町一般会計補正予算・153,916千円 …（全員挙手）
- ◆消防救急デジタル無線整備負担金 ……………51,701千円
- どのような内容か。
- △ 須坂の本部での対応になる。平成28年5月31日までにデジタル化の移行が必要。
- ◆予備費 ……………10,000千円
- 除雪が計3回の出勤、除雪費で計上しないのか。
- △ 通常はそうだが、金額確定前で予備費とした。
- ◎下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計補正予算 ……………（全員挙手）

条例改正 2件

- ◎職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について ……………（全員挙手）
- 改正の根拠と死体取り扱いは警察の業務では。
- △ 近隣市町村との比較で長い期間、改正をしていなかった。一人暮らしの孤独死に於いて保険師の確認業務。
- ◎小布施町都市公園条例の一部を改正する条例について ……………（全員挙手）
- スポーツコミュニティセンター設置の内容は。
- △ 千曲川ハイウェイオアシスのプロポーザルに於いて（榊松葉屋本店に決まった事によりボルダリング、スケートボード等の内容を想定）
- 町が設置した施設に於いて指定管理者が運営するのであ

- り指定管理者が設備投資をすることはいかがか。
- △ 企画から提案して頂き、選定されたので中の用具は指定管理者に設置して頂く。
- 行政財産を普通財産にする必要があるのではないか。
- △ 選定通り、企業の設置、管理、運営による。
- 企業負担により設置された施設の期間満了で撤退するとき、設備はどちらに帰属か。
- △ 基本は原状復帰である。

指定管理 1件

- ◎小布施総合公園スポーツコミュニティセンターの指定管理者について ……………（全員挙手）
- 指定管理者選定委員会があるがどの様に機能したか。
- △ プロポーザル選考委員会の委員の中に外部の有識者もいたので特に委員会は開かなかった。
- 提出された収支計画をどの様に検討したか。
- △ 選考委員会の中でヒアリング等を行い精査している。
- 町としてどの様にかかわり接していくのか。
- △ マレットゴルフの受付、ウォーキング等スポーツ交流の拠点として幅広い年齢層の方が利用頂けるよう指定管理者と検討をしていく。

〔社会文教常任委員会〕

条例の制定 2件

- ◎ 小布施町廃棄物等による不良状態を解消する条例について ……………（挙手多数）
- 今までの不良状態の経過と今回の条例制定の意義は。
- △ 当事者に再三廃棄物処理をお願いしてきたが、応じてもらえず、強制力も交えた環境保全対策が必要と判断した。
- あえて代執行を盛り込んだ条例を制定した理由は。
- △ 快適な生活環境保全のため、個人がなすべき適正処理が行われない状態の解消には強制力が必要と判断した。
- ◎ 小布施町空き家等の適正管理に関する条例について ……………（挙手多数）

- この条例を制定する理由は。
- △ 空き家による倒壊等の危険性が指摘された。こうした危険性の速やかな除去を目的に条例を制定した。
- 審議会の設置は。
- △ 建物による周辺への危険性排除が目的。他市町村の条例も参考に、審議会設置は馴染まないと判断した。

条例改正 2件

- ◎ 小布施町社会教育委員会設置条例の一部を改正する条例について ……………（全員挙手）
- 委員数を15名から10名に減らす理由は。
- △ 現在6名であり、近隣市町村においても10名以下の規定。

- ◎ 小布施町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例について ……………（全員挙手）
- 第3次一括法の関連だが、今回で条例改正が最後になるのか。
- △ 現在のところ最後と考えている。

補正予算 3件

- ◎ 平成25年度小布施町国民健康保険特別会計補正予算・86千円 ……………（全員挙手）
- ◎ 平成25年度小布施町介護保険特別会計補正予算・310千円 ……………（全員挙手）
- ◎ 平成25年度小布施町同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算・1千円 ……………（全員挙手）

規約の変更 1件

- ◎ 長野広域連合規約の変更 ……………（全員挙手）

将来の町を見据えて

賛成討論

関悦子

予算は、6つの分野に編成され、「交流・地域の未来」では、地域コミュニティの将来ビジョンづくりに、慶応義塾大学と連携しての研究が始まります。

「農業」では、都市農村交流の推進、担い手支援プログラムの構築などが継続され、「多様性と交流を学ぶ場」では、若者会議・サマースクール事業など、将来を見越した人づくりに貢献します。

来るものと考えます。「健康長寿の町」では、新たに、総合地域スポーツクラブの育成、「子育て」では、エンゼルランドセンターの建設などが進められ、「安心」では、新たに小学校に太陽光発電システムの設置や福祉車両の運行が充実されます。町制施行60周年を迎え、今後ともより一層、魅力的な町づくりが必要であり、平成26年度予算は、それらのための事業が各所に盛り込まれており、今後の発展性に期待されるものであり、賛成します。

〔政策立案常任委員会〕

- 陳情 労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める陳情書 ……………（挙手多数）
- 発委 労働者保護ルール改悪を求める意見書の提出について

平成26年度一般会計予算に対する付帯決議

- (1) 歳入の確保について
国や県の補助事業制度の情報収集に努め、積極的に活用されたい。
- (2) 委託料について
小布施町振興公社、小布施町社会福祉協議会、電算や実行委員会などに多くの委託料が計上されている。それぞれの趣旨は理解できるが、委託事業の内容について透明性を確保し、事業内容の見直しや精査を行い、支出の圧縮に努められたい。また、大学との契約についても内容を精査し、事業成果が上がるよう努められたい。
- (3) 嘱託職員、臨時職員について
採用期間や業務内容等を十分考慮した職員採用を行い、それに見合った報酬、賃金を支出されたい。

以上、決議する。
平成26年3月20日 小布施町議会

町民自らの手で住民こそ主人
公のまちづくりをすすめるべき

反対討論

小林 正子

国予算は消費税増税と社会保障改悪、国民大負担増。町は住民負担軽減すべきが上下水道消費税分の値上げ。○ 大学が官学協働で町の将来ビジョンづくりは、町民が自らの手でつくり上げるのが本来。○ 若者会議は若者定住につながるか疑問。小布施に育った若者の定住施策に重点を。○ 高齢者タクシー券の住民税非課税など限定は実態にあわず。交付対象をひろげるべき。○ 放課後児童クラブは安心な放課後の居場所となるよう、指導員に研修機会確保を。須坂の児童クラブへ児童依頼に町は委託料を。○ 学習セミナーの学習塾丸投げは問題。学力向上支援事業に一本化すべき。○ サマースクールHラボは、事業目標や運営実態に町民から心配と疑問の声多々。補助やめるべき。○ 巡回バスは町民の交通権を保障する公共交通に育てるべき。継続し本格運行を。



「足は第二の心臓」と言われ、「歩く」ことで全身の3分の2以上の筋肉を動かすことで、心臓のようにポンプの役目を果たし、血液の循環がよくなります。

「元気なまち宣言」

Q 「ウォーキングによる健康づくり」を今後のまちづくりのメインテーマの一つにすべき時と

A 「ウォーキングによる健康づくり」を今後のまちづくりのメインテーマの一つにすべき時と

Q 現在も担当者による連絡や事業協力は行っている。

A 現在も担当者による連絡や事業協力は行っている。

Q 60コースのマッピング。ベンチ設置（25年度中に4

A ベンチ設置（25年度中に4



小林 茂 議員

ウオーキング等による健康増進・疾病予防の現状と展望は

健康長寿社会を目指してウォーキング等による健康増進・疾病予防の取組みが全国的に広まっています。背景には、超高齢・人口減少社会、少子高齢化の中で持続可能な社会保障制度を維持するため

に重要課題であるからです。このたび、小布施総合公園に生涯スポーツ推進と住民の交流を目的にスポーツコミュニティセンターの設置が決まりました。加えて、地域のみなさん。主役の小布施町総合型地域スポーツクラブ

とか「歩こう条例」の制定とか、「歩く街並み特区」など思い切ったアピールで弾みをつける考えは、平成19年度から取組んできたウォーキング事業は、

今後、より強固な業務実施体制を整備として、民間の力もお借りしながら一体的に取り組みたい。ソフト面ではノーカーデーを設けて歩いて通勤すると

答 認識される町に

(竹内総括参事)

議会議員研修報告

【議員研修・団体との意見交換会】

1月17日 長野県地方事務政策課題研修会 「信州山の日」制定について 道州制を考える

1月30日 正副議長正副委員長研修会 「町村議会を取り巻く諸事情」 「本会議・委員会の事例研究」

2月8日 文化協会との懇談会 「10年後の小布施を考えよう」

2月12日 部落解放同盟小布施町協議会との懇談会

2月19日 上高井郡町村議会議員研修会 「発想の転換で新たな前進を」 講師：(株)産直市場グリーンファーム 代表取締役会長 小林 史磨 氏



郡町村会研修会

【視察受入】

2月3日 東京都板橋区議会 まちとしょテラス、景観、若者会議について
2月14日 上伊那郡中川村議会 通年議会
3月25日 埼玉県東松山市議会 農業・景観について
3月27日 新潟県五泉市議会 まちとしょテラスについて

ここが聞きたい？

3月会議 一般質問

目次

小林 茂7 ①ウォーキング等による健康増進・疾病予防の現状と展望は
小淵 晃8 ①消防団を町民全体で支援を
渡辺 高9 ①町の避難所の現状と今後について
原 勝巳10 ①信州「山の日」の制定を契機とした小布施町での取組について ②信濃蒲公英（日本蒲公英）の保護について
渡辺 建次11 ①予約制の乗り合いタクシーの導入は ②健康長寿の町を目指して ③歩行者の安全な道路横断
小林 正子12 ①原発再稼働に反対と町内放射線測定継続を ②介護保険法の改悪について ③巡回バスを公共交通として本格運行を
川上 健一13 ①大雪により被害を受けた施設園芸者への支援は
富岡 信男14 ①小布施町土地開発公社の在り方検討と廃止について
小西 和実15 ①国道403号の整備計画の現状は ②定住促進施策の成果は ③小布施町立図書館の現状について
山岸 裕始16 ①来年度のマレットゴルフの受付等は ②フラワーセンターで簡易宿泊所の開設見通しは
小林 一広17 ①公共施設への自然再生可能エネルギーの積極的設置を ②「しあわせ信州シェアスペース」の積極的活用を ③木造校舎の効果を考える ④この度の大雪での課題と対策は
大島 孝司18 ①町制60周年を契機に組織改革と意識改革を ②御開帳、御柱への対応は
関 悦子19 ①「健康づくり」への取り組み



小淵 晃 議員

消防団を町民全体で支援を

答 町も消防団と一体となつていきます

(市村町長)

Q 消防団員は規律正しく、元氣な号令・機敏な行動、そして「自らの地域は自らで守る」という、強い「郷土愛護の心」を持って、奮闘されており敬意と感謝を表しているところです。

消防団員は、いつ出動命令が出

るかわからない、時にはおのれの身の危険を顧みず現場に走る。まさに究極のボランティアです。

①消防団が、新団員の募集に大変ご苦勞をされている。消防団を町民全体で支援をしていくため、消防団の大きな任務や活動をもつと広報していただきたい。

②消防団員の中には町外に勤務されている方もいる。昼中の出勤には町内の企業・事業所の職員のご協力が不可欠なので、町消防団への入団要請は、規則正しく堂々の行進

規則正しく堂々の行進

③消防庁は「消防団員の定数の10%を女性で」との方針ですが、
④消防団員の、崇高な郷土愛に感謝の気持ちを込め、「町施設の特別優待

券の贈呈」「協力店の指定」「婚活」などの事業を企画し、消防団の魅力を高めてはどうか。

A ①消防団の様々な活動、特に火災・

災害時の活動については、多くの町民の皆さんにご理解をいただき感謝しています。町は消防団活動を町民の皆さんに広報することはもとより、団員確保も要請があれば協力・支援をいたします。

②昼間の火災・災害に対応するためにも、町内企業に勤務されている方にも町消防団員に加わっていただくよう、ご協力をお願いしていきます。

③消防団活動が更に活発になる

よう女性消防団員の入団を進めていきます。

④町施設の優待、シャトルバス・フリーパスの配布を検討しています。須高3市町村で共同実施の制度も検討中です。また将来的には民間の事業者の協力もお願いしたい。



渡辺 高 議員

町の避難所の現状と今後について

答 避難所の耐震工事を現在進めています (西原リーダー)

Q 町の避難所としての自治会公会堂の新築・改修工事の進捗状況はどうか。小布施町では、平成24年4月に町避難施設耐震補強工事補助金交付要綱を設け、第1避難所としている自治会公会堂の地震に対する安全性の向上を図り、震災に強い町づくりを推進している、自治会が実施する耐震工事の状況はどうか。

A 平成24年度中に1自治会が完了し、平成25年度は10自治会で耐震補強工事または新築による建て替え工事を行っていたが、9つの自治体で完成しています。

平成26年度実施予定は。

Q 5自治体で耐震化を予定されています。



新築により耐震化された横町公会堂

Q 避難所としての基準はどうなっているか。

A 耐震性があることと、一定のスペースや台所、トイレが必要となります。

Q 補助金の制度について伺いたい

A 補助金の上限額はありませんが、お

おむね国の補助基本額の1・5倍の3分の2の額を補助金としております。耐震補強が必要とされている自治会公会堂が対象となります。

Q 第2避難所としての体育館等の整備について、設備、改修はどうなっているか。

A エンゼルランドセンターの耐震改修をし、計画的に備蓄をすすめる、災害時応援協定も締結しています。



改修により耐震化された雁田公会堂



原 勝巳 議員

信州「山の日」の制定を契機とした小布施町の取り組みについて 「町外から見ると小布施町の魅力スポット」として 検証し検討したいと思います (中島教育委員長)

Q 小布施版「山の日」として、雁田山より眺める「ふるさと小布施」と、北陸新幹線が走る西部吉島を髻山から眺めることも「ふるさと小布施」です。

Q さと小布施」です。この三地点から眺める「ふるさと小布施」を「ふるさと再見里山ウォーキング」として、一年にひと山ずつ三年周期で小布施版「山の日」月間事業の一つとして考えられないか。

信濃蒲公英の保護について

生涯学習や文化財保護の視点から出来る限りの支援を (池田総括参事)

Q 「ふるさと小布施」として、雁田山より眺める「ふるさと小布施」です。高丘トンネルに入る新幹線と遠くに広がる小布施扇状地を、北信五岳道路の里山から眺めるも「ふる

A 身近な里山スポット三地点をふるさと再発見に活用して、ひと山ごとに三年サイクルで、ウォーキングを行なうことにつまましては、「町外から見ると小布施町の魅力スポット」として取り上げ、検証し検討をしたいと思えます。新幹線開通時には、公民館事業などのウォーキングやバスハイク等の取り組み、又はスポーツ教室等の生涯学習の中で取り組めればと考えております。

Q 町内では日本古来よりの信濃蒲公英が、繁殖力旺盛な西洋タンポポに負け激減してい

ます。今から少しでも保護をしなければやがて群生地も出来、多くの方に観賞され、子供達にも勉強となり、よって最適地は栗ガ丘小学校校庭西側と思われます。



髻山から眺める「ふるさと小布施」

Q 町内では日本古来よりの信濃蒲公英が、繁殖力旺盛な西洋タンポポに負け激減している。保護の観点から出来る限りの支援を (池田総括参事)



信濃蒲公英保護地栗ガ丘小学校校庭西側

A 町内でも種を採取していただく方もいますのでご協力や指導等を頂き、個人やグループの花づくりや、地域花壇づくりの中で取り組んで頂けるように努めてまいります。巴錦保存会のような活動につながれば素晴らしい事であります。町でも、生涯学習や文化財保護の視点から出来る限りの支援をしてまいりたいと思えます。



渡辺建次 議員

予約制の乗り合いタクシーの導入は 実施は難しい

(中條リーダー)

Q 平成25年度の巡回バスの運行状況は。

A 現行の運行方式より経費は増加すると見込まれますし、民間交通との競争は避けなければならず実施は困難であると思われま

Q 中学生に運動の動機づけをする環境整備は。

A また、不適切な自転車の乗り方や横断、遊び等があったときは、その都度全校指導を行っています。

A 10月から1月の月別一便当たりの乗車平均人数は、10月が1.6人、11月が1.8人、12月が2.6人、1月が2.9人でした。月当たりの経費は、収入が6万3千円に対し、支出は55万8千円でした。

Q 巡回バスの今後の予定と、乗り合いタクシーの民間委託について伺います。

Q 小中学生に運動の動機づけをする環境整備は。

Q ドライバーから見ると、横断歩道がわかりづらかったり、横断者の存在確認が困難(横断意思の不明確さ、日暮れ時の視認の困難さ等)であることが、事故発生率を高めています。改善策を伺います。

Q 巡回バスを乗り合い型のタクシーに切り替えた場合の、経費と課題は。

A 巡回バスの運行は当面休止とし、新たな手段を考えたいと思えます。民間委託は考えていません。

A 心身の健全な成長には適度な運動が大切であることを、保健体育の授業をはじめ、学校教育全体を通して、日常的に運動に親しむように指導しています。

A 薄暮時や夜にかけて、歩行者を確

健康長寿の町を目指して
保健師の訪問を強化
(竹内総括参事)

Q 中学生生徒で、運動クラブに加入していない生徒の割合は。

Q 道路横断における幼保育園児や小中

A 横断歩道の位置を運転手に知らせる方法として信号機のない横断歩道は、手前30mの場所からひし形の路面標示を2カ所設置するとともに、横断歩道前に交通標識を設置して

健康長寿の町を目指して 保健師の訪問を強化 (竹内総括参事)

Q 中学校における、朝部活や社会体育の現状と平成26年度の予定は。

Q 園や学校および町では、PTAなど保護者との連携や交通安全協会、

また、横断歩道付近に歩行者がいるときは、徐行が原則です。

A 男子が10%に対し、女子は35%と高い割合になっています。

A 園や学校および町では、PTAなど保護者との連携や交通安全協会、

また、横断歩道付近に歩行者がいるときは、徐行が原則です。



利用者低迷の巡回バス

Q 中学校における、朝部活や社会体育の現状と平成26年度の予定は。

Q 園や学校および町では、PTAなど保護者との連携や交通安全協会、

また、横断歩道付近に歩行者がいるときは、徐行が原則です。



小林正子 議員

Q 東日本大震災・福島原発事故から3年、避難住民は24万人。福島では17万人が先が見えない避難生活。原発ゼロで電力は足りている。汚染水対策もできずにいる東電の柏崎刈羽原発再稼働に町として反対を。

A 私も忘れてはならないと考える。事故を目の当たりにし、原子力発電は行ってほしくない。小布施に合ったエネルギー転換を模索していく。将来なくすべきだが、現段階は再稼働の行方を注視していく。

Q 小布施の放射能汚染は、町の放射線測定で証明された。計測停止は原発事故を風化させる。子どもの安全、「原発安全神話」否認のために続けてほしい。

A 先日測定に同行したが0・11マイクロシーベルトの所もあった。「ホットスポット」の測定も求める。

Q 介護保険料負担増は町民を苦しめる。基金活用で軽減を。高齢者増加から引上げ必要と予測。基金の活用、傾斜配分方式で低所得者の軽減継続する。

A 要支援1・2の方の訪問・通所介護が介護保険から市町

Q 要支援1・2の方の訪問・通所介護が介護保険から市町

A 要支援1・2の方の訪問・通所介護が介護保険から市町

A 29年には町の単独事業。継続の仕組み構築に取り組み。国の補助事業へ移行と説明を受けた。約束違反と異を唱えるものではない。

A 重要なことだと考えている。新年度以降は小布施町全体の公共交通体系のあり方を検討して、積極的前向きに検討していきます。

大震災を、原発事故を忘れない再稼働反対を ホットスポットなど放射能汚染を放射線測定で検証し続けてほしい

答 原子力発電は将来なくすべき 測定を継続します (市村町長)

A 平成23年12月から空間放射線量測定を続けている。計測地点は当初、16か所、現在は小学校、わかば保育園、栗ガ丘幼稚園、総合公園の4か所で。ほぼ数値は安定、長野市の結果と比較すると事故以前と同程度で、安全と言え。

当面計測を継続する。要望場所があれば可能な限り計測する。



「再稼働させない」国会前の金曜行動
2014年1月24日 国会正門前

Q 特養も抑制される。こうした制度改悪に、被保険者、利用者の立場から国に意見発信したか。

A 在宅介護を進めようという考えではやむを得ないと考える。国に対して意見発信はしていない。

巡回バス実施を

利用は低調 (中條リーダー)

Q 今回実験運行で利用は増加、町民の話題にもなってきた。必要な交通手段として認められてきている。本格運行を。

A 利用者は低調。移動支援は重要なことだと考えている。新年度以降は小布施町全体の公共交通体系のあり方を検討して、積極的前向きに検討していきます。

要支援のサービス外しは介護保険の約束違反 負担軽減とサービス継続に取り組みます (竹内総括参事)

Q 介護保険料負担増は町民を苦しめる。基金活用で軽減を。高齢者増加から引上げ必要と予測。基金の活用、傾斜配分方式で低所得者の軽減継続する。

A 要支援1・2の方の訪問・通所介護が介護保険から市町

Q 要支援1・2の方の訪問・通所介護が介護保険から市町

A 29年には町の単独事業。継続の仕組み構築に取り組み。国の補助事業へ移行と説明を受けた。約束違反と異を唱えるものではない。

A 重要なことだと考えている。新年度以降は小布施町全体の公共交通体系のあり方を検討して、積極的前向きに検討していきます。

大雪により被害を受けた施設園芸者への支援は

答 それぞれの農家の意向を確認しながら補助の上乗せをし、最大限の支援をしたい (久保田副町長)



川上健一 議員

Q 去る2月14日から16日にかけての大雪により、町内の施設園芸者のブドウや野菜のハウ

ウスが全損あるいは一部損壊といった事態となりました。被害にあわれた農家の皆さんには、心からお

見舞い申し上げます。JA須高のこれまでの調査によりますと、ブドウ約90a、野菜106a。被害状況は、100%被害から20%被害と各々のハウスで差はありますが、被害面積は約2haとなっています。ハウスの再建には、多額の資金が必要だが、どの程度の支援を考えているのか。

A ハウスの再建について、国は5割、県と町がそれぞれ2割の補助を行う。また倒壊したハウスの撤去については、基準額の範囲内で国が5割、残りの5割を県と町で負担する。またそれぞれの農家の意向を確認しながら、補助の上乗せをし、最大限の支援になるようにしていきたい。

Q 野菜農家については、野菜の苗を移植直前だったり、中には1週間もすれば収穫できる状態の農家の方もおられたようです。被害に合われた農家の皆さんの暮らしが心配です。収穫目前の農産物が全滅の農家もあるが、見舞金等の考えはありますか。

A 農産物が全滅し、今後の収入が途絶えてしまう場合などには見舞金等検討していきたい。

Q 全損のハウス等、傷んだパイプの撤去と再建にはかなりの労力が必要。人的支援はどのように考えているか。

A 施設の復旧には人手と時間がかかる。JAや部会の方々の協力をいただいたり、必要であればボランティア等の募集をして支援したい。



雪で倒壊したハウス



富岡信男 議員

Q

土地開発公社については、昭和47年に施行された「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づき、公共用地・公有地等に基づき、公共用地・公有地等の先行取得・管理を行うことにより、地域の秩序ある整備と住民福祉の増進に寄与することを目的に全国の自治体で設立されました。

設立当初は、公共事業や民間事業が活発に進められていたことにより、土地需要も大きく増大し、土地価格も上昇を続けていたため、土地開発公社による土地の先行取得は、用地の確保や土地取得における事業費の削減などに大きな役割を果たしてきました。

しかし、バブル崩壊後、土地価格の大幅な下落や継続的な下落が続く中では、土地の先行取得のメリットがなくなってきました。

Q

小布施町では、昭和56年8月に土地開発公社を設立し、総合公園の用地買収、高速道側道の用地やその他の用地買収を行い多くの成果を上げてきていますが、ここ数年は、ほとんど取引が行われていない状況です。

総務省では、第三セクター等の抜本的改革の推進等についての通知を出して土地開発公社の事業継続の是非を検討するよう求めています。

この通知を受け、全国的にも多くの自治体で土地開発公社の解散手続きが進められています。

町土地開発公社所有の雁田宮林地籍の土地は、町で花壇として利用しています。小布施町では、総務省通知を受け土地開発公社の在り方をどのように検討したのか。

小布施町土地開発公社の在り方検討と廃止について

答 民間への土地の売却等についても早急に対応する

(八代総括参事)

また、土地開発公社を解散する時期に来ていると思うが、考えは

総務省の通知を受けての検討については、事務局で、現状の検証・検討を行っています。

雁田地籍の工場集団化用地について、平成27年3月に土地改良事業施行8年が経過するので農業振興地域の地区除外をし、工場用地への転用を考えています。

土地開発公社の解散については、

理事会でも対応について検討していますが、公社のプロパー事業である工場集団化の用地、国道403号の代替地として取得した土地の処分が目途が立った時が解散の時期と考えています。

花壇として利用している雁田地籍の土地の町への売却、公社所有地の民間への売却についても早急に対応します。



花壇として利用されている雁田地籍の土地

国道403号の整備計画の現状は

答 早期の実現に向けて取り組んでいく

(市村町長)

やして取り組んでいる中で、2年が経過しようとしている。現時点での成果と状況を示していただきたい。

新規就農者の皆さんを除くと、24年度においては2件5人、25年度は2件4人の移住となっている。

100棚を設置する計画である。2年が経った現在15件程度に留まっている。残り3年で町内の方に80件以上設置していただくことになるが、計画に変更はないか。

① 今後は告知等により広く販売の機会をオープンにしていきたい。② やみくもに設置することではなく、質の高い活動に繋げていきたいと思えます。

Q

国道403号は私たち町民にとっては生活道路でもあり、何を最も重視すべきであるかといえば、町内に住むみなさんの快適な生活である。国や県へ提案書を提出してから2年近くが経とうとしている。町民のみなさん、特に子どもやお年寄りに危険が無いように安心安全で快適な道路に一刻も早く整備して頂きたい。

A

平成26年度以降実施設計、引き続き用地取得の予定と回答を頂いたが、一向に進んでいない。改めて、色々な場面をとらえ強く町の要望を伝え、早期の実現に向けて取り組んでいく。

定住促進施策の成果は

体制を少しずつ充実させていく (田中総括参事)

Q

平成24年度からこれまでの2年間、定住促進という課題に対して、関連も含めれば年間3、4千万円以上に上る多額の費用を費やしてきた。

当初の定住促進施策の目標としては、毎年10名ずつ定住者を増やしていくという計画であった。これだけ多くの費用と時間を費

Q

町内の方から小布施町立図書館まちとしよテラソにおける、物販に対する公平性の観点からの疑問の声を頂いた。現在の図書館における物販について説明を頂きたい。

① 町内の方から小布施町立図書館まちとしよテラソにおける、物販に対する公平性の観点からの疑問の声を頂いた。現在の図書館における物販について説明を頂きたい。

② まちじゅう図書館は5年間

内容等の充実を心掛けていく (池田総括参事)

- 起業家の支援と誘致 (基幹)
 - 町の環境や景観、文化、交流に共感し「小布施が好き」で小布施のまちづくりに積極的に関わっていただける起業家を応援します。 [4,927万円]
- 定住の支援とコーディネート (新規)
 - 住宅の新築や中古住宅等の購入・リフォーム費用を助成します。また、住まいや働くためのータルコーディネーターを行う専門員を配置します。 [1,300万円]
- 若者会議などの交流事業 (継続)
 - 若者会議、地域づくりインターン、都市農村交流事業などを通じて小布施のまちづくりに触れ、交流を深めていただき定住につなげます。 [495万円]
- タウンプロモーション事業 (基幹)
 - 全国3位の広報誌をはじめ、ホームページ、SNS、キャラクターを組み合わせた情報発信、地元CATVや出版社との連携により町の魅力を広く発信します。 [656万円]

25年度は計7,378万円が定住促進に用意された



まず何より、危険な歩道の段差を解消すべき



山岸裕始 議員

来年度のマレットゴルフの受付等は

答 指定管理者と相談して進めていきたい (畔上リーダー)

Q 来年度から千曲川ハイウェイイミュージアムは新しい施設に生まれ変わる予定です。

①ハイウェイイミュージアムで今まで行ってきたマレットゴルフの受付は。

②利用者から受け付けとマレットゴルフ場の管理が違うため、不都合があると聞かれています。

③マレットゴルフ推進の計画は。

献しているものと認識している。町として具体的な推進計画はないが、指定管理者と協力して進めていきたい。

Q 利用者に話を聞くと、ホワイトボードへの予定の書き込みがここ数年行われていない、26年度受付の体制が変わるまで町で責任をもって徹底していくことの約束を。

A 具体的な推進計画がないのなら、以前からコースにもう一つカップを設置すれば、より大勢の方が楽しめるかと要望がある。ぜひ推進計画の中でカップの購入をお願いしたい。

A ポーツコミュニティセンターの指定管理者に相談していく予定です。

不都合があるとのことだが、連絡を取りながら対応している。大会での貸し切り等ではマレットゴルフ場のホワイトボードに書き込み原則使用できないことを知らせており、受付でもお断りしている。

A ホワイトボードは町の職員が現地に行き確認、記載するように徹底していきたい。カップは早急に購入していく。

マレットゴルフは健康増進にも貢献している。

A 簡易的な宿泊機能を持たせるための基本設計を進めてきた。フラワーセンターは建設時、国庫補助事業を活用しており、当初の目的を逸脱しないよう国県と協議を進めてきた。協議の段階で基本

フラワーセンターで簡易宿泊所の開設見通しは

来年度繰越事業として地域の方に意見をいただき進めていく。(八代総括参事)

Q フラワーセンターの簡易宿泊所としての開設の見通しや、施設改修に対する基本的な考えは。

A 簡易的な宿泊機能を持たせるための基本設計を進めてきた。フラワーセンターは建設時、国庫補助事業を活用しており、当初の目的を逸脱しないよう国県と協議を進めてきた。協議の段階で基本



町内外から7000名以上の方が利用する人気の施設



花の生産基地として、良質なプラグ苗、花苗を扱っている。

設計案を見せたところ、「模様替え程度の改修」には当たらないと判断され、協議の結果、花苗施設としてから10年経過していることから、正式な財産処分の手続きを行っていくこととなった。補助金の返還なしで財産処分が可能なことから手続きを進めているが、時間がかかるため3月議会です算の繰越承認の手続きをした。財産処分の手続きを進めながら地域の方に活用方法についてご意見をいただき進めていく。



屋根貸しによるソーラー発電



小林一広 議員

公共施設への自然再生可能エネルギーの積極的設置を

答 策定中の自然エネルギー推進計画に位置付けたい (西原リーダー)

Q 小布施町は自然エネルギーの利活用の速度を緩めてはいけないと感じています。現在できる最も有効で効率のよい技術の導入を考えて行かなければなりません。そこで、北斎ホールの夏場での使用電力の最高値で庁舎の電気料金が決まっていますが、北斎ホールの夏場の冷房の利用を抑制しているとなればこれは住民サー

ビスの低下と考えます。そこで、
①電気料金の低下につながる手立てを考えているのか。
②公共施設への再生可能エネルギーの設置の計画は。
③公共施設への設置の常態化は。
④条例化の必要は。

A ①PPS(特定規模事業者)との契約を予定。
②26年度に小学校への太陽光発電装置の設置を予定。
③今ある施設での実証を優先させ、現在策定中の自然エネルギー推進計画にも位置付けたい。
④必要となれば条例化も検討。

県の「しあわせ信州シェアスペース」の積極的活用を条件が示される中で有効な活用を検討したい (西原リーダー)

木造校舎の効果を考える

木造の使用に努めている (竹内教育長)

Q 近年、木造校舎の教育上の効果が見直されている。木の香りが精神的に落ち着きを与え集中力、元気に影響がある。インフルエンザの発症率の低下、風邪による欠席の減少がみられる。転倒による怪我の減少が見られる。耐震性能も上がり、地球環境保全の面でも意味が深いなどの様に捉えているか。

A エンゼルランドセンターは鉄骨ですが、外観や内装等に出来る限り木材を使用して、軟らかく暖かみのある工夫をすすめてまいります。わかば保育園は木造構造を生かします。公共施設等においても木造の使用に努めています。林業や自然の生態系に配慮してまいります。



増築されるわかば保育園

この度の大雪での課題と対策は

排雪も行った (八代総括参事)

Q 通勤、通学、通院等生活道路としての安全確保は非常に重要です。ロータリー車の対応、雪捨て場の確保、自治会の除雪機の活用状況は。

A 不況で業者減少の中16社に委託している。雪を押し付ける場所の限界により排雪も行った。捨て場等地域の方のご協力をお願いしたい。除雪機の活用は各自治会に委ねている。有効的に活用を。



大島孝司 議員

町制60周年を迎えますが、人に例えると60歳という人生の大きな節目となる「還暦」です。この還暦を契機に役場の組織改革と職員の意識改革をして、役場内を大きく変えていくことが重要であると考えますが、見解を問います。

組織は、一定の年数を経たとき、改めて見直しをしていくべきです。現行の部門制・グループ制は平成16年度から始ま

町では、町制施行60周年事業を行います。テーマは「明日を創るのは私たち、今、小布施が動き出す」として、町制60周年記念式典他、19事業を記念事業としました。



組織改正と意識改革が期待される役場

町制60周年を契機に組織改革と意識改革を

（市村町長）

り、この3月で10年になります。名称の問題、人事の活性化がなかなか図れないなどの問題があります。職員間のコミュニケーションや情報共有の不足などの課題もあります。具体的な手段や方法を職員の意見も参考に定め、一層の活性化を可能とできる組織づくりに取り組みます。

Q

町制60周年に向けて様々な事業を予定していますが、予算付けのある事業、予算付けのない事業、それぞれの内容の詳細を問います。

A

町では、町制施行60周年事業を行います。テーマは「明日を創るのは私たち、今、小布施が動き出す」として、町制60周年記念式典他、19事業を記念事業としました。

御開帳、御柱への対応は経済的な波及効果は大きい（八代総括参事）

Q

来年の善光寺御開帳、再来年の諏訪御柱の小布施町への経済波及効果をどのように捉えているか。新幹線延伸も重なり効果は大きい。経済波及効果を最大限生かすために、町のとるべき対応は。具体的な施策を問います。

A

善光寺御開帳や諏訪御柱は県の伝統的な催事として全国から長野県に多くのお客様がお出でになり、小布施町への来訪者も増え経済波及効果は大きい。前回の御開帳では長電の協力のもと善光寺大門と中町バス停、ハイウェイオアシスを結ぶシャトルバスを運行し、町内施設の割引入場



来年春開催される善光寺御開帳



期待される小布施町健康づくり研究所



関 悦子 議員

町は第5次総合計画・基本計画で、「健康はすべて

の基本であり、町民一人ひとりの元気が集まって町全体を元気にする」とし、各種事業に取り組んでいる。生活習慣病対策として、「特定健診・特定保健指導」の実施や、ウォーキングによる健康づくりに力を注ぎ、昨年は、「小布

「健康づくり」への取り組み

答 新たに開設した研究成果を活用

町健康づくり研究所」を開設して町民の健康等に関する研究に着手した。

① 「国保加入者」に対する「特定健診・特定保健指導」は町で実施するが、「被用者保険加入者」は各事業所で実施する。町は、「被用者保険加入者」の健診結果データの把握や健康指導にどのように関わっているか。

② 特定健診などの実施率、メタボ該当者の減少率によって後期高齢者医療制度への財政負担へのペナルティーがあるが、町の現状は。③ 昨年開設された「小布施町健康づくり研究所」の今後の研究成果に大いに期待されるが、事業実施までのスケジュールは。④ 膝、関節が痛い人は、歩くのもつらいが、水中ウォーキングと

「小布施町健康づくり研究所」の（竹内総括参事）

か温泉療法は取り組みやすく、有効と言われている。近隣の温水プールや施設を積極的に利用するための取り組みを。

A

① 町民全体の健診データの一次元集約化は地域全体の健康づくり分析に役立つ。新年度から、各健診事業者に協力を呼び掛ける。

② 町の特定健診の受診率は国の目標を下回っているが、年々上昇してきている。ペナルティーの程度は、実際には実施されていない。③ 新年度から、信大医学部の協力により、日常生活全般が運動機能（特に上半身）に及ぼす影響の分析を開始する。10年間の追跡調査となるが、随時、研究経過等報告したい。④ 高山村と共同して、温泉施設



歩くことから健康づくりを小布施町は歩くに適したところ